

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成28年10～12月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、北海道エアシステム）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- ソラシドエア：SNJ
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- ハネー・エア：VNL
- 春秋航空日本：SJO

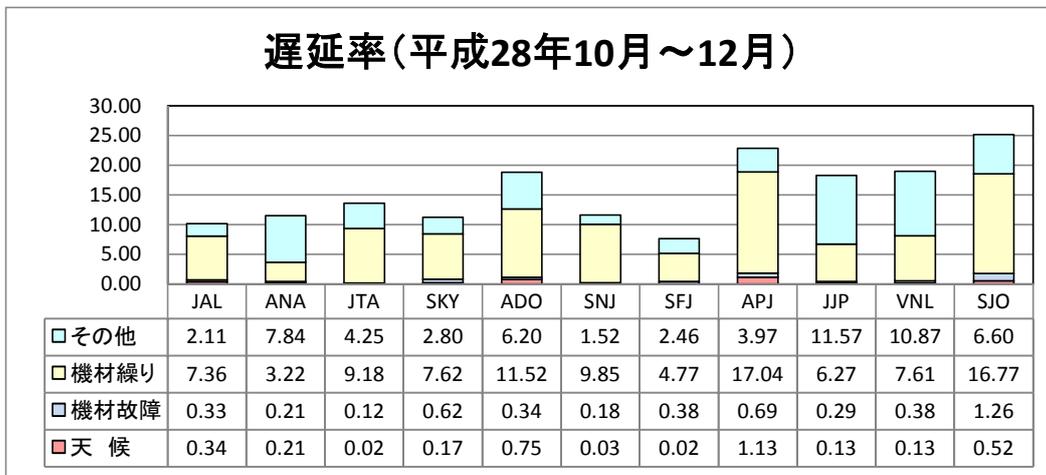
※北海道エアシステムは平成28年10月30日から日本航空及びジェイエアとの共同引受を開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成28年10月～12月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
11.99%	7.63%	4.36ポイント上昇

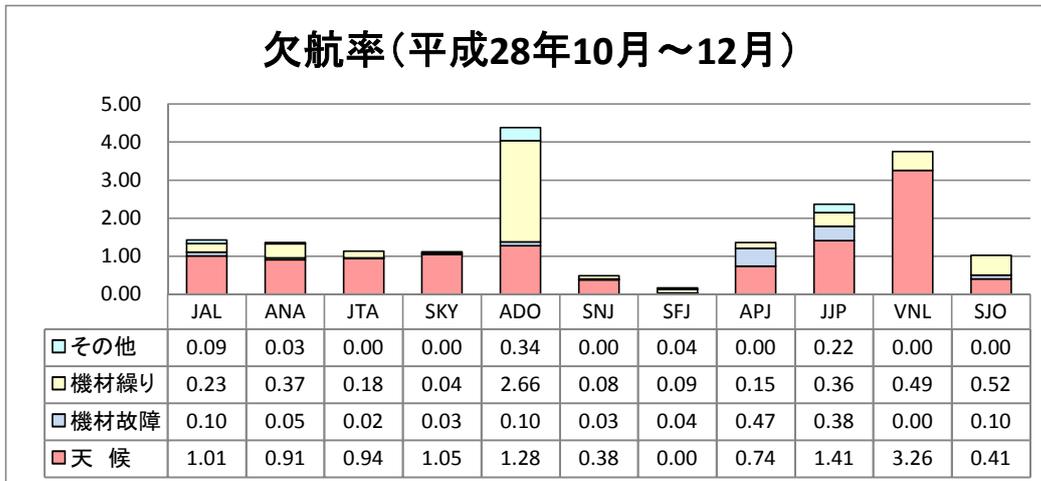
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成28年10月～12月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
1.46%	0.71%	0.75ポイント上昇



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成28年10月～12月）

項目	当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
平均搭乗区間距離	931km	930km	0.11%増
輸送人員	2443万7620人	2367万0100人	3.24%増
輸送人キロ	227億6053万人km	220億2307万人km	3.35%増
旅客収入	3423億57百万円	3422億9百万円	0.04%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.0千円	14.5千円	3.45%減
輸送人キロあたり 旅客収入	15.0円	15.5円	3.23%減

(2) 路線別データ（平成28年10月～12月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

	当期実績	前年度同期実績
1位 東京＝福岡	217万9315人	(215万9148人)
2位 東京＝新千歳	216万8839人	(252万1662人)
3位 東京＝那覇	143万8289人	(136万6328人)
4位 東京＝大阪	140万1706人	(136万3254人)
5位 東京＝鹿児島	60万5885人	(58万3995人)
全路線	2411万2037人	(2365万7710人)

②利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 関西＝仙台	89.6% (90.9%)	1位 宮古＝石垣	25.8% (28.0%)
2位 神戸＝長崎	86.9% (64.9%)	2位 函館＝奥尻	41.8% (-)
3位 成田＝関西	85.3% (88.9%)	3位 札幌＝稚内	43.7% (38.6%)
4位 高松＝成田	84.6% (80.1%)	4位 東京＝八丈島	45.0% (43.2%)
5位 関西＝鹿児島	84.5% (88.2%)	4位 福岡＝福江	45.8% (49.4%)
全路線	71.9% (69.1%)	全路線	71.9% (69.1%)

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成28年10～12月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（提供座席数を上回る予約客を受け付けること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	2.81人	3.09人
②	ソラシドエア	1.43人	0.87人
③	AIRDO	1.30人	0.52人
	全社平均	1.08人	1.06人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認ください。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html